

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 工事負担金（旧岐阜産業会館）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 商工政策課 管理調整係 電話番号：058-272-1111（内 3047）

E-mail : c11351@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,500 千円（前年度予算額：208 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	208	0	0	0	0	0	0	0	208
要求額	5,500	0	0	0	0	0	0	0	5,500
決定額	5,500	0	0	0	0	0	0	0	5,500

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- 岐阜産業会館は県内産業の振興と文化の向上を目的に、昭和45年8月、県・岐阜市の共有施設として開館し、改修工事費についてもそれぞれ1/2を負担している。
- 令和2年度末をもって公の施設として廃止されるが、会館に入居する全団体が退去するまでは、施設を維持管理する必要がある。施設は築50年以上が経過しており、施設・設備の老朽化が顕著になっていることから、会館の機能維持のためには営繕改修工事を行うとともに、廃止に伴い施設周辺の道路看板等の整備を行う必要がある。

（2）事業内容

①道路看板撤去工事

会館が令和2年度末をもって公の施設として廃止されることに伴い、会館周辺に設置されている道路看板を撤去するもの。

②緊急修繕

施設は築50年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進行しており、緊急的に必要になる施設・設備の修繕を行うもの。

(3) 県負担・補助率の考え方

契約事務は岐阜市が行うため、県は経費の1/2を負担金として支出

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	5,500	県負担金の算出 要求額 11,000 千円 → <u>負担金(上記の1/2) 5,500 千円</u>
合計	5,500	

決定額の考え方

4 参考事項

・ 後年度の財政負担

現在、会館の取り壊しを含む今後の活用方針について検討中であり、令和3年度以降の財政負担については未定。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
岐阜産業会館は、築50年以上が経過しており、施設の老朽化により修繕が必要な箇所が多数あることから、岐阜産業会館の機能を維持するとともに、利用者等の安全を確保するため、必要な改修工事等を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

施設の維持管理のみを目的としており、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

岐阜産業会館に保管されているPCB汚染トランスなどに加え、新たに倉庫からそれらの補充用の油缶が発見されたことから、改めて微量PCB分析（濃度測定）を行った。

（前年度の成果）

分析の結果、低濃度PCB含有物と判定されたため、該当する機器の適切な管理を行うとともに、廃棄に向けた手続きを行う。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	岐阜産業会館は、築50年以上が経過しており、施設の老朽化により修繕が必要な箇所が多数あることから、施設所有者として、同会館の機能を維持するとともに利用者等の安全を確保する必要があり、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) —	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) —	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の老朽化が顕著であることから、施設の定期点検を徹底することで改修施設等の状況を把握し、緊急性の高い整備については速やかに実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設改修については、現状維持を基本に、今後も入居者の安全確保に必要な工事を実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】